

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	交通対策協議会運営事業	事業コード 1251
------------	-------------	---------------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	属性 交通安全	基本施策 交通安全を推進する	実施施策 交通安全対策の強化	3041
	重点施策体系					

PLAN(計画)	部署名	女性活力・人権推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	年4回行われる交通安全県民運動を実施するとともに、交通安全市民大会等の各種イベント、交通安全の啓発用の広報ポスター等の作成により、交通事故防止、交通安全思想の普及と交通安全意識の高揚を図る。				
	概要	交通事故防止対策協議会および部会を開催し、市内の交通安全推進団体や公共的団体と連携した交通安全市民運動を実施する。また、交通安全市民大会等のイベントの開催や啓発用チラシ等の作成・配布により、交通事故防止を呼び掛け、交通安全思想の普及と意識の高揚を図る。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	全体会を年1回、部会を年4回開催している。また、交通安全市民大会を年1回開催している。				

DO(実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
		交通対策協議会等の開催	回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	5	5	6	
		交通安全市民大会等イベント開催	回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	5	5	5	5	
	成果指標								
		指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
		交通安全市民大会参加者	人	目標値	220	240	260	280	300
				実績値	374	424	351	392	
		計算根拠		達成率(%)	170	176.6	135	140	
				ランク	A	A	A	A	
				実数値					
		会計	一般会計		事業要員		正規職員		0.4
		事業タイプ	単独事業		事業要員		臨時・嘱託		
	経費区分	物件費		事業要員		※所要時間			
	【単位:千円】								
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	843	905	709	829	924			
	決算額	843	905	585	796	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市民の生命と生活を交通事故から守るには、交通安全に関する啓発等を行い、交通安全意識の高揚が重要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	国、県、市町が連携を密に取り組んで行くとともに、その中でも市が中心となり取り組む必要があり、他の方法はない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	交通安全に対する意識やマナーの向上は、個々の意識に負うことが大きく、改善にはどのような方法が妥当なのかは難しく、多種多様な啓発をしていくことが必要である。		
		根拠			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	交通安全の啓発やチラシ配布等のイベント等を開催すれば、交通安全の意識の高揚や普及向上につながるが、現在の財政状況の中では困難である。			

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	<ul style="list-style-type: none"> 交通対策協議会等の開催を通して、市内の主要団体との協働による交通事故防止に対する活動を実施する。 交通事故防止に関するイベント等を開催し、交通安全の意識を高める。 	平成27年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 交通対策協議会等の開催を通して、市内の主要団体との協働による交通事故防止に対する活動を実施する。 交通事故防止に関するイベント等を開催し、交通安全の意識を高める。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>					
年度	H22(2010)		H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
取組選択	—		可能	不可能	不可能	可能	可能
実施状況	—	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	交通安全教室開催事業	事業コード	1247
------------	------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	3041
	重点施策体系	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	交通安全	交通安全を推進する	交通安全対策の強化	

PLAN(計画)	部署名	女性活力・人権推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	交通安全教室を開催し、交通事故の防止と交通安全教育の徹底を行うとともに、幼児・高齢者用広報ポスター等を配布し、交通安全思想の普及を図る。				
	概要	交通安全教育指導員(2名)により幼児・児童および高齢者を対象に交通安全教室を開催し、交通事故の防止と交通安全教育の徹底を行う。また、交通安全の啓発用ポスターやチラシを作成し、交通安全思想の普及に努める。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	内容 交通安全教育指導員(2名)が主体となって、鯖江警察署や交通指導員会等と協力して、交通安全教室を開催している。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	交通安全啓発チラシ・ポスターの作成		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	21	17	17	18	
	幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室開催数		回	目標値	190	190	190	190	190
				実績値	170	155	155	166	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	交通安全教室等の参加者数		人	目標値	13000	13700	14500	15000	15000
				実績値	12913	13020	12868	13135	
計算根拠	幼児、小・中学校、高齢者交通安全教室参加者数および出前講座参加者数		達成率(%)	99.3	95.0	88.7	87.6		
			ランク	A	A	B	B		
			実数値						
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員				
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託	2			
	経費区分	人件費			※所要時間				
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	5,107	5,236	5,280	4,639	4,709			
	決算額	5,107	5,121	4,300	4,440	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	交通事故死亡者に高齢者が多く、また、幼児、小・中学生および高齢者が事故の 当事者となることが多いため、交通安全指導の必要性は増している。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市、警察、交通安全協会等が共同で取り組むべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない		根拠	交通安全教室を開催し、交通安全指導を行う必要性は増しており、業務量が今後 増える可能性が高くコスト削減は困難である。		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	幼児、小・中学校、高齢者を対象とした交通安全教室の開催数を毎年増やして おり、参加者数も増加している。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育指導員2名で、市内の小学校・幼稚園や老人クラブ等を対象に交通安全教室を開催する。 就学時前の児童の保護者向けに交通安全教室を開催する。 	平成27年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育指導員2名で、市内の小学校・幼稚園や老人クラブ等を対象に交通安全教室を開催する。 就学前の児童の保護者向けに交通安全教室を開催する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>					
年度	H22(2010)		H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
取組選択	—		可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	—	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	交通指導員支援事業	事業コード 1240
------------	-----------	---------------

総合計画 体系	基本施策 体系	基本目標 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	属性 交通安全	基本施策 交通安全を推進する	実施施策 交通安全対策の強化	3041
	重点施策 体系					

PLAN (計画)	部署名	女性活力・人権推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	警察および交通安全推進団体等と緊密な連携を取りながら、鯖江市交通指導員設置条例に基づき市長が任命した交通指導員の活動を支援することにより、交通事故防止を図る。				
	概要	市内各所の車両交通量が多い路線で、早朝または夕方に街頭指導を行う。また、つつじまつりなど市内の主要なイベントにて、市民の安全誘導を行い、交通安全思想の普及に努める。				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	市直営			
	内容	条例に基づき市長が委嘱する交通指導員に対して、報酬や被服貸与等の支援を行っている。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	交通指導員の人数			目標値		40	40	40	40
				実績値		36	36	33	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	早朝、薄暮時の交通指導実施回数		回	目標値	40	40	40	40	40
				実績値	41	38	41	41	
	計算 根拠			達成率 (%)	102.5	95	102.5	102.5	
				ランク	A	A	A	A	
		実数値							
タイ プ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	人件費							
事業 要員	正規職員	0.35							
	臨時・嘱託								
	※所要時間								
【単位:千円】									
事業 費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	4,259	4,153	4,083	4,114	4,173			
	決算額	3,737	3,220	3,434	3,276	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	交通事故の減少、交通マナーの向上のために、交通指導員による交通安全の保持は、市民の生命と生活を守るために不可欠である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	交通安全保持のために、鯖江市交通指導員設置条例第1条の規定に基づき、鯖江市長が交通指導員を委嘱し、支援を行う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	条例に基づき市長が委嘱する交通指導員に対する報酬や被服貸与等の最低限の支援であり、削減の余地はない。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。	
		【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	指導員の充足と資質の向上を図れば余地があると考え。	

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	鯖江市が委嘱した交通指導員が市内の交通安全を保持するための活動に対して報酬・被服の貸与等の支援を行う。	平成27年度計画	鯖江市が委嘱した交通指導員が市内の交通安全を保持するための活動に対して報酬・被服の貸与等の支援を行う。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="その他"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能		
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	シルバー交通安全推進員事業	事業コード	1249
------------	---------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	3041
	重点施策体系	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	交通安全	交通安全を推進する	交通安全対策の強化	

PLAN(計画)	部署名	女性活力・人権推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	鯖江市シルバー交通安全推進員設置要綱に基づき町内単位にシルバー交通安全推進員を市が委嘱し、高齢者へ交通安全を啓発することにより、高齢者の交通事故の抑止を図る。				
	概要	①定数300人（H25.3.31現在269人）、②年1回、県の研修会に参加、③諸会合・行事等を利用して高齢者に交通安全の呼びかけを実施				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	鯖江市シルバー交通安全推進員設置要綱に基づき町内単位にシルバー交通安全推進員を市が委嘱し、高齢者へ交通安全を啓発する。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	地域の高齢者の交通安全教室開催		回	目標値	30	30	30	30	30
				実績値	31	46	39	47	
	シルバー交通安全推進員研修会		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	高齢者対象の交通安全教室受講者数		人	目標値	900	900	950	950	1000
				実績値	1627	1778	1268	1652	
計算根拠	高齢者対象の交通安全教室への参加者数		達成率(%)	180.7	197.5	133.5	173.9		
			ランク	A	A	A	A		
			実数値						
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	物件費			※所要時間				
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	184	143	139	181	124			
	決算額	184	51	120	181	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	高齢者が事故の第一当事者となるが多くなっていることから、高齢者への交通安全の啓発は必要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	県、警察および高齢者の団体との連携を密にしなが、市が中心となり取り組む必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠			
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない		根拠	シルバー交通安全推進員は無報酬であり、啓発に必要なチラシ等の消耗品費や郵便料のみであり、削減の余地はない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	交通安全に対する意識やマナーの向上は、個々の意識に負うことが大きく、改善にはどのような方法が妥当なのかは難しく、多種多様な啓発をしていくことが必要である。		

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成27年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 廃止・休止
	平成26年度取組み	市が委嘱する、町内単位のシルバー交通安全推進員が地域の高齢者に対して交通安全教室にあわせて教室への参加を呼びかけ、高齢者の交通安全に対する意識の高揚を図る。高齢者の運転免許自主返納を促す。	平成27年度計画	提案型市民主役事業化制度で事業の提案を募った上で、応募者（受託者）がなかった場合は、事業を終了する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>					
年度	H22(2010)		H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
取組選択	-		不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	交通指導員会運営補助事業	事業コード	1243
------------	--------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	3041
	重点施策体系	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	交通安全	交通安全を推進する	交通安全対策の強化	

PLAN(計画)	部署名	女性活力・人権推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	各種交通安全啓発事業を行う鯖江市交通指導員会に対し補助金を交付することにより、活動事業の推進を図る。				
	概要	街頭指導のほか、カーブミラー清掃、交通安全茶屋の開設および夜間違法駐車パトロールの実施等の事業に対し活動補助として補助金を交付する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	交通指導員会の運営補助				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	交通安全イベント等の開催回数		回	目標値	13	13	13	13	13
				実績値	25	21	18	20	
	計算根拠	交通安全イベントの件数(小学生・高齢者への指導・啓発、安全茶屋、カーブミラー清掃、シートベルト啓発、駐車パトロール、つつじまつり、つつじマラソン、防災訓練、無謀運転監視、慰霊祭、市民大会、秋HANABI、県駅			達成率(%)	192.3	161.5	138.5	153.8
				ランク	A	A	A	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	補助費等							
事業要員	正規職員	0.1							
	臨時・嘱託								
	※所要時間								
【単位:千円】									
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額	360	360	360	360	360			
	決算額	360	360	360	360	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市民の生命と生活を守るために、交通安全活動を継続的に行っている団体に助成 する必要がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	交通指導員による交通安全活動をスムーズに行うためには、団体への運営補助 が、ある程度必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金交付申請を受け付け、検査検収を行い、支出するという事務のみであり、 補助金以外は予算化されていない。		
		根拠	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。		
		根拠	補助金の交付目的に沿って適正に活動している。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			

ACTION	【平成26年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み 交通安全活動を継続的に行っている鯖江市交通指導員 会に対して補助金を交付する。	平成27年度計画 交通安全活動を継続的に行っている鯖江市交通指導員 会に対して補助金を交付する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>							〈不可能選択理由〉 団体補助等の特定の相手先への補助 金や交付金事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	交通安全協会運営補助事業	事業コード	1245
------------	--------------	-------	------

総合計画 体系	基本施策 体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	3041
	重点施策 体系	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	交通安全	交通安全を推進する	交通安全対策の強化	

PLAN (計画)	部署名	女性活力・人権推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	交通事故の防止を図るための啓発、広報、教育活動を行う鯖江交通安全協会に、補助金を交付することにより、交通安全の保持と交通安全思想の普及を図る。				
	概要	①11の分会(市内10地区+女性部会)での活動、②交通安全運動の推進・会員の交通安全教育・交通功労者の表彰、③交通道徳の高揚、交通事故防止等の啓発・広報				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	補助金等交付			
	内容	交通安全協会の運営補助				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	交通安全教室等の開催		回	目標値	350	350	200	200	200
				実績値	341	176	179	263	
	計算 根拠	安全教室等の開催回数(小中高校生、幼児、保護者、高齢者、自転車教室) H23より交通安全教室の内容の見直しを行いH24より目標値が変更となった。			達成率 (%)	97.4	50.2	89.5	131.5
				ランク	A	C	B	A	
			実数値						
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	補助費等							
事業 費		正規職員		0.05					
		臨時・嘱託							
		※所要時間							
		【単位:千円】					補助金等名称		
	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)			
	予算額	450	450	450	450	450			
	決算額	450	450	450	450	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市民の生命と生活を守るために、交通安全活動を継続的に行っている団体に助成 する必要がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	独自の財源を持ち、市民の生命と生活を守るために交通安全活動しているが、団 体の円滑な運営のために市が補助金を支出することは、ある程度必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	根拠				
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金交付申請を受け付け、検査検収を行い、支出するという事務のみであり、 補助金以外は予算化されていない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金の交付目的に沿って適正に活動している。		

ACTION	【平成26年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成27年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み 交通安全活動を継続的に行っている団体に補助金を交付する。	平成27年度計画 交通安全活動を継続的に行っている団体に補助金を交付する。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text" value="団体補助等の特定の相手先への補助金や交付金事業のため"/>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22(2010)</th> <th>H23(2011)</th> <th>H24(2012)</th> <th>H25(2013)</th> <th>H26(2014)</th> <th>H27(2015)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取組選択</td> <td>-</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> <td>不可能</td> </tr> <tr> <td>実施状況</td> <td>-</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施	
年度		H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)															
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能																
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施																	

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H25 事業名	運転免許自主返納支援事業	事業コード 3089
------------	--------------	---------------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	属性 交通安全	基本施策 交通安全を推進する	実施施策 交通安全対策の強化	3041
	重点施策体系					

PLAN(計画)	部署名	女性活力・人権推進室	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	高齢者の運転免許の自主返納を支援し、近年増加する高齢者が加害者となる交通事故を減少させることを目的とする。				
	概要	住民基本台帳カードの交付手数料を無料とする (H26年度～)。 運転免許を自主返納した高齢者の交通災害共済掛金を助成する (H25年度～)。 コミュニティバスの無料乗車券を発行する (H19年度～)。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	運転免許を自主返納した高齢者の交通災害共済掛金 (1人500円) を助成する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	高齢者の交通安全の開催		回	目標値				30	35
				実績値				47	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	交通災害共済加入金の助成者数		人	目標値				250	310
				実績値				243	
	計算根拠			達成率 (%)				97.2	
				ランク				A	
		実数値							
タイプ	会計	一般会計							
	事業タイプ	単独事業							
	経費区分	物件費							
事業要員	正規職員	0.08							
	臨時・嘱託								
	※所要時間	0							
事業費	区分	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	補助金等名称		
	予算額				300	165			
	決算額				122	-			

平成26年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	高齢者が運転免許を自主返納した後の交通手段および安全確保につながるため、 ニーズは高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	高齢者が加害者となる交通事故が年々増加する中で、行政が提供できるサービス を提示して、高齢者の運転免許自主返納を促進し、さらなる交通事故防止につな がるのが期待できる。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	対象者は年々増えることが予想されるため、コスト削減は困難である。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	市独自のサービスであり、財源確保は困難である。	
		【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	広報や交通安全教室等におけるPRにより、利用者増につなげたい。	

ACTION	【平成26年度 取組み】	<input type="text" value="内容拡大"/>	【平成27年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成26年度取組み	平成26年度からは、運転免許自主返納者のうち希望者 に対し住民基本台帳カードの交付手数料（500円）を 無料化することにより、高齢者の自主返納をより一層 促進し、交通事故減少につなげる。	平成27年度計画	運転免許自主返納者のうち希望者に対し、①交通災害 共済掛け金の永年無料化、②つつじバスの1年間無料 乗車券の永年交付、③住民基本台帳カードの交付手 数料（500円）の無料化により、高齢者の自主返納をよ り一層促進し、交通事故減少につなげる。

【H27提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>	〈不可能選択理由〉					
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	<input type="text" value="その他"/>
取組選択	-	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	-	未実施	未実施	未実施	未実施		